

産業振興計画に関する市町村及び住民との意見交換の概要

仁淀川 地域	主な意見 (○市町村、◆住民 の意見)
土 佐 市	<p><全体></p> <p>○定着してきて実を結ぶ段階にきており、成果を期待している。宇佐もん工房の発展も県の支援があつてのもの。大々的ではないが、地域が元気になっている感覚を持っている。</p> <p><農業></p> <p>○休耕地を集約することで、事業者に来てもらえるようにしたいが、休耕地が点在しており集約が難しい。</p> <p><水産></p> <p>○漁業の復活が重要。漁業従事者は70歳代で後継者がいない。漁業者と加工業者とのつながりを作ることができればよい。</p> <p>◆宇佐もん工房の立ち上げから支援してもらい5年目でようやくスタート地点に立てたと感じている。今後は地域で地盤固めをし、恩返しをしていきたい。</p> <p><観光></p> <p>○NPO 法人を土佐市の観光と物産の窓口として、モノを売り資源を活かしていけるようになることを実現したい。</p> <p><人材></p> <p>○経営塾をやってきたことも活きている。人づくりは目には見えにくいですが、元気でやる気のある人たちが出てきている。</p> <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><水産></p> <p>◆10年後に向けて漁業者の担い手育成や漁師の組織化（給料制）、また、船の維持管理まで行えるような漁業法人的な組織づくりに県も取り組んでいくべき。</p> <p>◆漁業者確保のため、うるめの一本釣り漁師ならこれぐらいの生活ができるということをわかるようにパッケージ化して示す。漁協と連携した人材育成やサポート体制が必要。</p>
い の 町	<p><林業></p> <p>○森林組合の人材育成が課題である。人が定着しない。</p> <p><外商></p> <p>◆産業振興センターの経営革新支援事業により大きく販路開拓が進み、情報が広く入ってくるようになった。待っていてはダメだと自らの意識改革になった。</p> <p>◆APの取り組みを通じ、地産外商の意識が格段に上がった。</p> <p><人材></p> <p>◆商人塾を受講したことが役に立っている。</p> <p><その他></p> <p>◆6次産業化に取り組んでいるが、ロット等の問題で売り先に苦慮している。また、輸送コストがネックになる。</p> <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><農業></p> <p>◆国内ではメジャーではない愛知県の西尾茶が海外で流通している。海外への販売に活路を見出してはどうか。</p>

仁淀川 地域	主な意見 (○市町村、◆住民 の意見)
いの 町	<p><商工></p> <ul style="list-style-type: none"> ○土佐和紙（特に手すき和紙）を売り出していくために営業する人材がいない。海外に売り出せるような仕組みが必要。 <p><移住></p> <ul style="list-style-type: none"> ○移住者の求める条件としてネット環境は必要だが、本川地区等は光回線がひけていない。2つの集落活動センターも未整備。 ◆不動産屋の役割を町が担うなど、受入れできる体制づくりが重要。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○枝川周辺は土地利用の縛りがあって企業誘致や宅地の造成などの障害になっている。土地利用規制を緩やかにしてほしい。 ◆地域の方が食品加工等に参入しやすいように、小さい単位でのグループが使用できる加工場を作るなどの環境整備が必要ではないか。 ◆サル、イノシシなどの鳥獣被害が広がっている。対策の強化が必要。
仁 淀 川 町	<p><林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○木産材を使えと言われているが建築基準法や単価の問題があり、これ以上は難しい面がある。出口がない。 ○とにかく人がいないことが問題。林業をしていくには、林業学校卒業後2～3年は実地で研修等で経験を積むことが必要。研修生や受入先に対して支援することも考えている。 ◆林業家の育成がいわゆる「一人親方」にかかっており、組織的でない。地域の木材の大部分が愛媛の市場に流れている印象。材の確保がいびつになり、大手製材所に材が山積みになっている一方で地元の製材業者に材が回ってこない。スムーズな林業振興につながっていないのではと感じる。 <p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観光素材は豊富にあるが、町の情報一元化や、現地案内の体制構築ができていない。 <p><移住></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆移住に関するサポートは良い。一方で、町にいる人達（Uターン者）や町にいたけど出た人達に対するサポートが少ないと感じる。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ネット環境が良くない（ADSL）のは、ビジネスとしてしんどい。 ◆将来の暮らしを考えると、子育て面でどうしても町に残りにくい。高校進学のために家族で町を出ると、まず戻ってこない。 <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆森林組合が林業就業者の育成をしっかり行っていけるような公的支援をお願いしたい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「長期的な事業の維持継続サポート」という視点でも政策を考えてもらいたい。

仁淀川 地域	主な意見 (○市町村、◆住民 の意見)
佐 川 町	<p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○集落営農や法人化の動きがあるが、農業だけではない仕組みが必要。農業だけでなく、半分農業、半分林業というやり方もあると思う。 ○ニラのそぐりセンターを作りたい。 ○農家レストランや直販所、加工場など農業政策の展開を考えている。 <p><林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国的に、自伐型林業の先進県を打ち出していくべき。本県は、先進県なのでやっ ていこうとすると人を集められる。 ○自伐型林業は順調。地元住民と地域おこし協力隊を合わせた 35 名が取り組んでい る。 ◆林業界は営業力が弱い傾向。他業種の営業戦略を学ぶ必要がある。地域性を生かし、 林業界×何かのコラボで新しい魅力的な商品、売り方ができればいい。 <p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ○土産が無い、駐車場が無い、寄る場所が無いのが現状。それぞれの生産者が作って いるものをまとめて売る「道の駅」のような場所が必要。 <p><移住></p> <ul style="list-style-type: none"> ○移住の入口の段階は県がやった方がいい。相手が見えてきたら各市町村で受け入れ をやっていくという役割分担だと思う。 ○空き家を貸してくれない。 <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><林業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○木製品の売込み、地産外商の部分を支援してもらいたい。 ◆集落営農組織と自伐型林業を組み合わせ、生計を立てることができる仕組みづく りが必要。生活できる姿を見せることで、町民に自伐型林業を理解してもらう。 <p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆佐川にも情報発信や販売拠点となる道の駅が欲しい。 ◆佐川の観光を進めていくためには、まずは役場と観光協会、観光にかかわる地域の 住民団体が話し合いの場を持って互いの距離を縮め、佐川町内を固めることが大切。 その次に、流域 6 市町村の連携をさらに濃いものにして受入体制整備を進める。 <p><外商></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆県外量販店と取引の話があっても、チルドの物流がないため、商品を届けられない。 単独の事業者では難しいところを県で対応してくれたらありがたい。周辺の地域全 体で商品を取りまとめて運ぶ仕組みづくりが必要。本四架橋の料金の軽減化も有効。
越 知 町	<p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎回バージョンアップが図られており、取り組みの成果も現れてきていると思う。 <p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新規就農を実際やろうとしても、新規就農支援事業（150 万×3 年）だけでは生活で きない。副業をしようにも町内に雇用の場がほとんどない。 <p><商工></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆異業種の交流が深まったり、補助金を利用しての販路開拓・新商品開発が活発になり、 経営安定の県融資の利用が増えている。

仁淀川 地域	主な意見 (○市町村、◆住民 の意見)
越 知 町	<p><観光> ○大手アウトドアメーカーが管理運営するキャンプフィールド・直営店の誘致に向けて、引き続き県と連携して取り組みたい。</p> <p><移住> ○空き家を貸したがらない人が多い。</p> <p><その他> ◆おち駅ができて売上が伸びたが、売り場の拡充、駐車場の確保、看板の改善など、やるべきことがある。</p> <p>新たな施策への提案・要望</p> <p><観光> ◆観光入込客の増には、高速（橋）の利用料金を安くするなどの仕組みづくりと、移動時間以上の魅力が必要。</p> <p><外商> ◆小規模事業者の共通の課題は物流コスト。仁淀川流域の物流一元化による支援、仕組み作りを検討していただきたい。</p> <p><人材> ◆「目指せ！弥太郎商人塾」について、異業種交流ができてよかったとの感想や、町内開催を望む声がある。</p> <p><その他> ○産振補助金の上限（5,000万円）について、金額を引き上げてほしい。 ◆特産品開発に係る補助金支援はありがたいが、短期間の支援ではなかなか立ちしづらいため、もっと使いやすく息の長い支援が欲しい。</p>
日 高 村	<p><農業> ○シュガートマトにこだわろうと考えている。県の次世代育成施設園芸団地と連携して、栽培面積を増やせないかと思っている。 ○JAの育苗センターで稲以外の苗を作ろうとしても、補助金の目的外使用となりできない。稲以外の栽培ができれば周年雇用につながるのも嬉しい。 ○後継者不足が問題となっている。生産者を増やしたい。 ○トマトで就農するには1,000万円必要。JAのレンタルハウスを借りて始めることができるが、初期費用のハードルが高い。</p> <p><林業> ○間伐が出来ていない。国の補助金はハードルが高い。</p> <p><観光> ○日高村には観光が無いと言われてきたが、村の駅ひだかができて大きく前進した。 ◆村の駅やオムライス街道の取り組みにより、村外（特に高知市）からかなり人が来てくれている。これからさらにレベルアップするために人材育成も必要。</p> <p><外商> ◆産振計画のサポートにより、始めの一步が踏み出しやすくなった。地域の産業は元気になっていると感じる。海外への販路も拡大した。</p> <p><移住> ○空き家を貸してくれない。老朽化や浸水の問題もネック。</p>

仁淀川 地域	主な意見 (○市町村、◆住民 の意見)
日 高 村	<p>新たな施策への提案・要望</p> <p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域内で直接後継者を育成する支援策が欲しい。村、農協、普及所が地元の空きハウスを使って同じ条件（土壌、気象、経営環境）で3年程度一緒にやれば育成できる。 ◆仁淀川流域茶及び土佐茶の販売額向上に関する事業について、製品茶販売に対する取り組みが、荒茶売上の減少をカバーするには程遠い状況であり、現状にあった取り組み内容を検討するべきである。（茶の収穫を一番だけ行い二番は手を付けない農家が出てきた。放棄地も増加している。） <p><商工></p> <p>（製紙業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海外での販促を単独でする場合への補助が欲しい。海外向けパンフレットや旅費等。 ◆紙産業技術センターへ新たに機械装置を導入することになっているが、今これを導入してどうなるかと感じる。もっと地域の企業や手すき和紙協同組合と協議して方向性を出していくべきである。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ビジネスが1年で終わることはないので複数年度事業での補助を考えていただきたい。また、採択要件の「雇用増」は現状（設備投資により効率化が図られる→少人数で利益を上げる）にマッチしていない。